

北条高 同窓会だより

北条同窓会
立学校同窓会
県愛媛高等
媛学 2023.2
愛高 山本智紀
発行 印刷
印刷 (株)松栄印刷所

岐路に立つとき



同窓会長 山本智紀

「愛媛風早高校」へと校名を変更し、現在の全日制・総合学科を廃止し、学校制度を変えるという。計画案が示されました。本会の皆さま方も今後の母校の在り方については様々なお考えがあることと存じます。人口減少・少子高齢化が進み、産

北条高等学校同窓会会員の皆さまには、ご健勝のこととお慶びを申し上げます。また日頃より本会の活動にご理解とご尽力を賜り、心から感謝と敬意を表する次第です。本年は、「癸（みずのと）卯（うさぎ）」年、株式相場には、「辰巳天井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い、亥固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる。」という格言があります。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとっては縁起の良い年として知られているようです。さて、旧年は初夏に母校の歴史を揺るがす大きな方針転換が学校長を通じて愛媛県教育委員会より示されました。「北条高校」がなくなり、

県立学校振興計画について



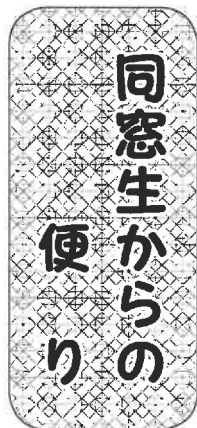
校長 市川和夫

業経済基盤の面ではアジア周辺諸国には急成長と発展を遂げる国々がある中で、急速に国力を失う我が国の状況を鑑みれば、様々な分野の改革は必要なのであらうと感じます。この先の見通せない多大なる苦難の前であるからこそ、後輩たちの未来を陰ながら支えて応援し母校の持続可能性を全体で考え、実行し見守っていく必要があると考えます。先述の愛媛県立学校振興計画公表表における母校の現状を広くお知りいただきました。北条高校を未来に繋ぐ会の河崎元会長よりこれまでの活動と詳細のご報告をこのたびご寄稿いただきましたのでお読みください。結びに、二〇二三年度が北条高等学校同窓会会員の皆さまにとって、新たな時代への船出の年となり希望の光が差し込む年となることを心から願っています。

北条高等学校同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素から母

校の教育活動推進のために、格別のご理解と多大なご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、令和四年七月に愛媛県教育委員会から公表されました、「愛媛県立学校振興計画（案）」につきましては、驚かれ、また心配なさうたかと推察いたします。これに関し

ては、同窓会の皆様や地域の皆様で構成されました「北条高校を未来へ繋ぐ有志の会」が、松山市議会に「改編案に対し再検討を求めめる請願」を提出、採択されるなど活動いただいているところですが、振興計画策定の指針に関する報告書では、その背景を次のように掲げています。「少子化に伴う生徒数の減少、情報化、グローバル化の進展などにより、県立高等学校等を取り巻く環境が大きく変化する中、生徒にとってよりよい教育環境の実現を第一義に、県立高校等が、社会を支える人材の育成拠点として、さらに地域活性化の核として、その役割を果たせるよう、新たな県立学校振興計画を策定する必要がある。」また北条高校の令和八年度の改編内容案は次の通りです。「多様な生徒を対象に、一人一人に応じた自由で柔軟な学びを提供し、未来につながる進路を実現できる、新しい形の学校とするため、全日制課程を改編し、昼間二部定時課程及び通信制課程を併置した、「愛媛風早高校（仮称）」を設置する。同校には、授業配信拠点としてのセンター機能を整備する。」校名など詳細は、令和五年度以降に設置される準備委員会において、検討していくこととされています。計画通りならば北条高校は令和七年度までは現在同様全日制総合学科として新入生を募集いたします。皆様にはご心配をおかけしておりますが、今後とも母校へのご支援をお願いするとともに、皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



わが母校を未来へ繋ぐ

平成八年度卒 河崎 元



朝晩の冷え込みと日中の温かさに春の訪れを感じる季節となりました。北条高校同窓会の会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、山本会長のご挨拶にもありますとおり、昨年七月に愛媛県教育委員会より愛媛県立学校振興計画案が示されました。まさに熱戦を繰り広げる全国高等学校野球選手権大会愛媛県大会期間中の発表に、ショックを受けながらも逆にそれを力に変え、北条高校史上初のベスト8入りを果たした野球部の活躍には大きな感動をいただきました。県が示す振興計画案にある『基準』に照

らしてみても、現在の北条高校の状況が当てはまる部分はなく、全日制の廃止の方針はまさに寝耳に水、驚きを覚えました。急速に少子化が進み、県立高校の在り方についても何かしらの対策が必要なことは十分理解できます。しかしながら、この『北条』から全日制高校がなくなれば、その地域に住む高校生が徒歩や自転車を通うことができず、ご家庭の事情によってはこれを理由に全日制高校への進学をあきらめざるを得ない可能性も含まれます。また、活躍を続けているなぎなた部や吹奏楽部、野球部などの部活動の継続もできないこととなります。こういった、卒業生はもちろん、何より在校生の北条高校への熱い想いを形にし、関係機関に届けていくために、賛同してくださる有志とともに『北条高校を未来へ繋ぐ有志の会』を昨年八月に発足しました。以来、松山市議会への請願の提出や県教育委員会への要望などを続けております。また、昨年末には皆様からアンケートなどでいただいたご意見をもとに振興計画の代替案も提出しました。重ねてになりますが、何より在校生、そしてこれから北条高校に入學してくる後輩たちが胸を張って「北

条高校の卒業生だ！」と言えるように未来へ繋ぐ活動を行ってまいります。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

【提出した代替案の主な内容】

- ・北条高校の校名の存続
- ・学年の枠を超えた単位制全日制と昼間二部定時制の併設



高校生活を振り返って

平成二十五年度卒 渡辺 真由



久しぶりに卒業アルバムを開くと、あの頃の思い出がぎゅっと詰まっっていて懐かしく感じました。本当にあつという間の学生生活でした。

なぎなた部に所属し、キャプテンを務めました。毎日の練習は厳しかったですが、三年間やり遂げられた事は力となり、今の自分に繋がっ

ています。自分で考え行動する力、諦めない精神力、目上の方に対する接し方など様々な事を学ばせていただき、社会に出てから活かす事が出来ています。お世話になった先生、先輩方、仲間感謝しています。

また、介護福祉士になる為に福祉系列を選択していました。医学や法律の勉強、実技もあり覚える事が多く大変でした。しかし、卒業後すぐに現場で働く事が出来たのは、学んだ知識と技術の基礎がきちんと身につけていたからです。中でも施設への現場実習は、実際の現場の緊張感や責任感を感じ取れる貴重な体験だったと思います。勤めだしてもうすぐ十年目となります。辛い事もありますが、感謝の言葉を貰えたり笑顔を見るとやがいを感ずります。長い人生の最期に付き添う事、それは誰しもが経験出来ることではありません。日々命の尊さを感じています。今後も一人ひとりに寄り添う介護をしていきたいと思っています。私が高校生活で得たものは自分の可能性を大きく広げてくれました。コロナ禍で色々と制限され大変なことが多いと思いますが、努力した事は必ず報われます。皆様のご活躍を応援しています。

第73期 期別評議員より

北条高校で学んだこと

三年次一組 上杉 春花

私は北条高校で、いろいろなことに挑戦、取り組み、学びました。充実した三年間だったと思います。体育大会では、応援副団長を務めさせていただきました。初めてのことはばかりで不安でいっぱいでしたが、みんなと協力して精一杯取り組んだことで良い体育大会になったと思います。応援副団長をしようとチャレンジしなかったら得られなかった学び、喜びがあり、何事にも挑戦する、精一杯取り組むことは大切だと思いました。

卒業後は、高校三年間で学んだことを活かし、何事も諦めず挑戦し続け、将来の夢に向けて頑張りたいと思います。そして、学んだこと、これから学ぶことを忘れず、身に付け成長していきたいと思えます。

三年間の学びと今後の決意

三年次二組 矢野 魁人

私は北条高校で過ごした三年間で積極的に取り組むことの素晴らしさ

に気付きました。

以前は提出物の期限を守ることが苦手でしたが、生徒手帳を活用することで自己管理に努め、克服しました。また、検定の取得にも励みました。情報ビジネス系列に属し、商業科目の検定取得に向けて学習しました。将来の進路についても具体的に考え、今では公務員となり地域住民のために働きたいという夢を見つづけることができました。そして、三年次の体育大会では、コロナ対策を講じたり、後輩たちに振り付けを伝えたりして主体的に活動できました。

この三年間で積極的に取り組むことで高めたコミュニケーション能力や集団を率いる統率力を生かし、立派な社会人を目指して精進します。

経験と学び

三年次三組 正上 華

私は、三年間の学校生活で様々な経験をすることができました。一番印象強いのは、総合研究の発表会です。私は、福祉（看護）の代表に選ばれました。生徒、学校の先生、保護者の前での発表はとても緊張しましたが、後で「良かったよ。」と言ってもらえて良かったです。発表するまでの作業はとても大変でしたが、

普段することのないことがたくさんできたので良い経験になりました。

また、委員会活動に力を入れた学校生活を送ることができました。三年次にはホームルーム委員長をしましたが、初めてのことで不安もありましたが、やって良かったと思えます。

とても学びのある三年間を過ごすことができました。この学びをこれからの人生で生かしていきます。

主な進路先（内定状況）

（令和五年一月十九日現在）

〔進学〕

愛媛大学	1名
高知県立大学	1名
松山大学	3名
聖カタリナ大学	6名
人間環境大学	3名
広島経済大学	1名
広島工業大学	1名
大阪体育大学	2名
天理大学	1名
帝塚山学院大学	2名
大分県立芸術文化短期大学	1名
聖カタリナ短大	5名
松山東雲短期大学	1名

〔就職〕

セキ株式会社	1名
株式会社時の名所	1名
株式会社伊予鉄会館	1名
株式会社新来島どつく	1名
丸協運輸株式会社	1名
株式会社ホテルオークラ神戸	1名
愛媛県警察官	2名

〔計〕

四年制大学	26名
短期大学	7名
専門学校（医療系）	13名
就職	24名
（一般）	14名

同窓会事業報告

（令和四年度）

- ① 同窓会役員会
中止（書面審議）
- ② 同窓会総会・懇親会
中止
- ③ 同窓会だより第四十四号発行
令和五年二月二十八日（火）
- ④ 同窓会入会式
令和五年二月二十八日（火）

北条高校体育館
入会記念品として卒業証書ホルダーを贈呈

※ホームページにも掲載しています。

主な諸活動の記録

◎アーチェリー(男女)

- 第7回四国高等学校アーチェリー選手権大会
女子個人 9位
- 令和4年度全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会
高門宮賜牌第55回全国高等学校アーチェリー選手権大会
女子個人 出場

- 令和4年度愛媛県高等学校アーチェリー新人大会兼全国選抜県予選
男子70mラウンド 3位
30mラウンド 1位

◎弓道(男女)

- 第41回愛媛県高等学校弓道選抜大会中予地区予選
女子個人 2位
- 第41回愛媛県高等学校弓道選抜大会(兼第41回全国高等学校弓道選抜大会愛媛県代表選考会)
女子個人 4位



◎サッカー

- JFA第9回全日本U-18フットサル選手権大会愛媛県大会 5位
- 第101回全国高等学校サッカー選手権大会愛媛県大会
1回戦 0-17 済美
- 第5回えひめU-18フットサル大会 4位

◎なぎなた

- 第76回愛媛県高等学校総合体育大会
個人試合 1・3位
演技競技 2位
団体試合 2位
- 全国総合体育大会なぎなた競技会
演技の部 優勝
個人の部 2位
- 国民体育大会第43回四国ブロック大会なぎなた競技
少年女子 団体試合 1位

- 第57回愛媛県なぎなた選手権大会
個人試合 1・3位
演技競技 3位
- 全国高等学校選抜大会
団体試合 出場
個人試合 出場



◎野球

- 第104回全国高等学校選手権愛媛県大会

- 1回戦 3-1 土居
- 2回戦 10-0 弓削商船高専 (6回コールド)
- 3回戦 5-2 松山聖陵
- 準々決勝 0-10 新田 (5回コールド)
- ベスト8



◎ラグビー

- 令和4年度第70回四国高等学校ラグビーフットボール選手権大会愛媛県予選
1回戦 合同1 28-12 松山東
準決勝 合同1 7-47 新田
※決勝・3欠は中止
- ※合同1・北条・西条・三島
- 令和4年度愛媛県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技
予選リーグ 3位
決勝トーナメント(ボウル)
北条38-0南予合同
北条19-14東予

- 第102回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛媛県予選
1回戦 合同2 12-31 合同1
※合同2・北条・野村・松商
※合同1・松山東・三島

◎レスリング

- 第76回愛媛県総合体育大会レスリング競技
学校対抗戦 2位
個人対抗戦 51kg 1位
○第19回四国高等学校レスリング選手権大会
学校対抗戦 出場
個人対抗戦 51kg・60kg 出場

- 第38回全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会
個人対抗戦 51kg・60kg 出場
- 令和4年度愛媛県高等学校レスリング新人大会
個人対抗戦 60kg 1位
個人対抗戦 71kg 2位

◎コーラス部

- 第89回NHK全国学校音楽コンクール愛媛県コンクール
高等学校の部 奨励賞



◎吹奏楽部

- 第70回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会
高等学校A部門 金賞・代表
- 第70回全日本吹奏楽コンクール四国支部大会
高等学校A部門 銀賞
- 第23回定期演奏会

◎書道部

- 第51回全国高校書道展 特選
- 第31回国際高校生選抜書展 準特選

◎福祉科

- 令和4年度生徒体験発表四国地区予選 優良賞
- 第二回高校生介護福祉研究発表会 四国地区予選 奨励賞

◎商業科

- 令和4年度 税に関する575 優秀賞